

第 1 回 岬町総合計画審議会 議事概要

開催日時	令和 2 年 3 月 16 日 (月) 10 時 00 分～12 時 00 分
開催場所	岬町役場 3F 第 2 委員会室
出席者	下村委員、河野委員、奥野委員、反保委員、松尾委員、竹原委員、北本委員 五反田委員、茂野委員、四至本委員、下出委員、田中委員、辻下委員 寺田委員、西田委員、小川委員、柴崎委員、早川委員
欠席者	大浦委員、山田委員
事務局	副町長、総務部長、総務部理事兼財政改革部理事、理事兼企画地方創生課長、 課長代理兼企画地方創生係長、企画地方創生課主事
傍聴者	1 名
議題(案件)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 町長あいさつ 3. 委員の委嘱及び紹介 4. 岬町総合計画及び岬町総合計画審議会について 5. 会長・副会長の選出 6. 会長・副会長就任のあいさつ 7. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 諮問について (2) 第 5 次岬町総合計画策定方針およびスケジュールについて (3) 第 5 次岬町総合計画 (はじめに) 素案について (4) 次回審議会日程について (5) その他 8. 閉会
資料	資料 1 - 1 岬町総合計画審議会委員名簿 資料 1 - 2 岬町総合計画条例 資料 1 - 3 岬町総合計画審議会条例 資料 1 - 4 第 5 次岬町総合計画策定方針 資料 1 - 5 岬町総合計画審議会スケジュール 資料 1 - 6 まちづくりの課題の設定 資料 1 - 7 第 5 次岬町総合計画 (はじめに) 素案 資料 1 - 8 住民意識調査結果報告書 (概要版) 資料 1 - 9 団体アンケート調査結果報告書 (概要版) 資料 1 - 10 まちづくりワークショップ報告書 資料 1 - 11 岬町の現況 (抜粋)

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
事務局 町長	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の確認 <p>2 町長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催に当たり、岬町長、田代堯より挨拶申し上げる。 ・世界では新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている。岬町では幸い感染者は出ていないが、泉佐野市で感染者が出たという情報がある。 ・このような状況なので、日常生活でコロナウイルスにかからないように、手洗いやマスクの着用等を行って各自予防していただきたい。 ・本日はご多忙のところ、出席いただき感謝申し上げる。また、委員の皆さまには町の最上位計画である総合計画の検討という大役を引き受けていただき、感謝申し上げる。 ・現在、本町のまちづくりは第4次総合計画を指針として施策に取り組んでいる。来年度がその計画の目標年次に達することから、次の10年の指針となる新たな総合計画の策定が必要になっている。そこで本審議会で議論を重ねていただき、答申していただくようお願い申し上げる。岬町の将来を見据えたまちづくりの最上位計画であることをご理解いただきたい。 ・第4次総合計画を策定した10年前と比較すると、我が国の経済情勢は回復基調にあるが、新型コロナウイルスの影響で景気の先行きは不透明だ。本町においても人口減少、少子高齢化の進展による生産年齢人口や税収の減少によって、今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれる。このような状況であるので、本町のまちづくりを総合的かつ計画的に進めるため、総合計画の策定が非常に重要になってきている。子どもたちがふるさとに誇りと愛着を持つことができたり、誰もが元気で生き生きと暮らせたりする町を目指す。また、岬町に生まれたり、移り住んでよかったりしてよかった、これからも住み続けたいと思えるまちづくりを目指していきたい。 ・そのためには住民、事業者と行政が双方に信頼し、連携をしてまちづくりを進めていくことが最も重要だ。また、住民の皆様のご理解とご協力も必要不可欠だ。 ・委員の皆様も、本町の状況を十分に理解していただき、より良いまちづくりのためにご協力いただきたい。 <p>3 委員の委嘱及び紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の紹介、挨拶 <p>4 岬町総合計画及び岬町総合計画審議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1-2、資料1-3について説明
事務局	

事務局	<p>5 会長・副会長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長ならびに副会長は、岬町総合計画審議会条例第4条の規定により、委員から選挙で定めることになっている。会長、副会長についての意見を願います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙での選出は難しいので、事務局から推薦をいただきたい。 (異議なしの声)
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・会長には第4次総合計画審議会の会長や、総合戦略推進会議の会長、副会長を多数経験されている下村委員を推薦する。副会長には、これまで総合計画審議会や総合戦略推進会議の委員を歴任されている大浦委員を推薦する。 (異議なしの声)
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、会長には下村委員、副会長には大浦委員を選任させていただく。 ・本日は委員総数20名に対して18名が出席しており、会議は成立していることを報告する。
会長	<p>6 会長・副会長就任のあいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画審議会は町の将来、まちづくりの道しるべとなる非常に大切な内容を審議する委員会だ。忌憚のない意見を頂き、より良い総合計画を策定していきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・町の情報公開条例により、会議は原則として公開となっている。ただし、例外として個人や法人に関する情報などこの条例で定められた事項に該当する場合や、公開することにより公正かつ円滑な議事運営に著しい支障が生じると予想される場合は非公開とすることができる。なお、公開された場合は会議での発言や議事録は後日公開される。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・会議を公開としてよろしいか。 (異議なしの声)
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本審議会は原則として公開とする。非公開とすべき案件が発生した場合は非公開とすることを諮らせていただく。 (傍聴者の入場)
町長	<p>7 議事</p> <p>(1)諮問について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岬町総合計画審議会、会長さま。岬町長、田代堯。第5次岬町総合計画素案について諮問。岬町総合計画条例第3条の規定に基づき、第5次岬町総合計画素案について諮問をいたします。どうかよろしく願います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・お受けする。
事務局 委員	<p>(2)第5次岬町総合計画策定方針およびスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1-4、資料1-5について説明 ・2号委員は、5月に役員の変更がある。私は事業委員会の委員長で参加してい

事務局	<p>るが、役職が変わった場合は委嘱も代わるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会委員の役選により委員が代わる場合には、その方に引き続き審議会委員を担っていただく。
事務局 会長	<p>(3)第5次岬町総合計画（はじめに）素案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 1-6、資料 1-7 について説明 ・現在、本町のみならず全体的な社会の流れや動きを捉えて記載されている。この捉え方、過不足についても意見を頂きたい。潮流の捉え方と課題の設定で、今後 10 年間で町が取り組む施策と事業がある程度方向付けられる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・第 4 次総合計画を踏まえると、施策が多岐に亘るため、計画で十分な結果が出ているとは思えない。 ・第 5 次総合計画を策定するにあたり、町は多くの課題に直面している。人口が増えている町の施策を見ると、どこの町も限られた予算の中で、行うことを絞り、重点を置いている。私は町の根源として人が大切だと考える。人が集まってこそ予算の確保など、様々なことができる。今後のまちづくりに対してどこに重点を置くのかを最初に示して、様々な政策に当たっていただきたい。
会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な重点施策について意見はあるか。 ・人を呼ぶためには子育て世代に来てもらい、教育の充実や雇用の創出が必要だと考える。多くの自治体が子育て世代へ支援を行っているが、注目を浴びるような思い切った施策を打ち出していただきたい。 ・例えば、現在医療費は高校生まで無料となっている。給食費や教育費、学童保育を無償化して、子育て世代を呼び込むことが大切だ。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・これから居住者をどのように増やしていくか、例えば 7 ページを見ていただきたい。分野別構想の中の少子化、若年層の流出に向けた対応として子どもが減っている状況やハード、ソフト面での子育て環境の環境整理について記載されている。この点を重点施策として打ち出したらいかがかというご意見だった。 ・ここで記載されていない内容、並びに重点施策として打ち出す内容でも構わないので意見を頂きたい。総合計画は本町のすべての事務事業並びにすべての施策が総括されているものだ。ここに書いていないものは進められないという理解の下で、向こう 10 年間のまちづくりの方向性を考えていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・9 ページにおいて、交通の便が悪いというアンケート結果が出ている。アンケートの回収率は 35%ほどで、回答者の年齢層を踏まえて検討する必要がある。岬町は関西空港も近く、なんばまで 45～50 分ほどで行くことができる。車に乗れない人にとっては交通の便は悪いだろうが、若い人はそのように思っていないのではないか。年齢層ごとにアンケート集計を出していただきたい。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の審議会クロス集計表をお示しする。 ・町を取り巻く課題が多い中で、どのように地域を持続可能な形とするかが問

	<p>題だ。</p> <ul style="list-style-type: none"> • できるだけ自主・自立を目指し、循環型の社会をつくっていくべきだ。交付金の不交付自治体を目指すべきだ。持続可能な地域をつくるためには、例えば教育を充実させて、人を集める施策を行うべきだ。そうすると、行政と住民の協働が重要になる。そのためにはソフトの構築が足りない。協働の取り組みは行っているが、そこから各分野で持続可能な形が作られているわけではない。 • 例えば子育てでは、地域の価値だと見回りというキーワードがあり、多くの人が参画している。高齢者にとって見守り、生徒との関係は大切であり、その関係を深掘りすることもソフトの構築だ。 • 加えて、議会でも提唱しているが、学校給食でも地産地消を促進することが必要だ。農業、漁業、子どもたちにとって三方よしとなる活動と仕組みづくりが必要だ。 • 限られた費用の中で仕組みを構築していくため、ソフトの仕組みを充実していくことが重要になる。農業と漁業の生産の方々を増やす、取り組むのも大切だが、例えば学校給食だと学校給食へどのように卸していくか、協働によって話し合いを持つ場を作っていくことが必要だ。 • ソフト面を活性化させて成功している自治体は他にもある。岬町も独自施策の下でソフトの仕組みづくりを打ち出していきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> • 課題整理の項目へ、協働について言及する余地があるか検討していただきたい。子育て環境、教育環境、地産地消に端を発する一次産業、地場産業の育成と、さまざまな話題があった。具体的に総合計画へ記載することは難しいと思うが、検討する余地はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • そのような内容を踏まえて素案を作っていく必要があると考えている。子育てや仕事づくりは記載されているが、仕組みづくりは言及がないので、書き方を検討して、またお示ししたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> • 補助金を受けて事業を進めていくうえで、3年や5年といった期限がある。最初の3年間は事業を実施できても、町の単費や別の交付金が取れなかった際に事業が推進できないことがある。その点を考えて交付金を獲得する必要があるので、その点を考えながら書き方を検討していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> • 9ページについて2点指摘したい。ひとつは交通の便で、ワークショップで交通の便が良い意見と悪い意見と二つの意見があった。そういった状況で、この10年間か分からないが、南海電車が新大阪まで延伸する。町としての対応を記載するか検討するべきだ。 • 都市施設の維持、後進について、上下水道の維持に関して岬町の課題が記載されていない。計画へ記載するべきだ。
会長	<ul style="list-style-type: none"> • 両方ともインフラの話であった。上下水道事業は町がずっと取り組んでいる事業のひとつだが、いかがか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • ご指摘いただいた内容はざっくりとした書きぶりとなっているので分かりにくい。民間の公共交通網の事業者とのつながりをどこまで書けるか検討する。

<p>会長</p>	<p>上水道は広域となっているが、下水道は町の事業であることから、分かりやすい表現に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4次総合計画と比較して、この10年間でどのように潮流が変わったかを見ると、SDGsに言及している点は良い。各潮流の中で日本全体の潮流だけではなく、町が直面している動きや流れ、課題がまとめられている。 ・10年前と違い、新たな視点として情報ガバナンスが出てきている。ITやICT、スマートシティといったデータの中でどのようなまちづくりを進めていくかについて記載されている。 ・一方で、環境配慮型都市については内容が減っている。21世紀に入る前にサステナブルデベロップメント、いわゆる持続可能な開発がうたわれた。環境に対して配慮すべき都市だといわれて、もう30～40年経つが、どこかで記載するべきだ。 ・だから町を挙げて何かをするということではなく、ごみを減らすとか、CO2削減のために省エネの取り組みをするといった様々な取り組みがあり、事務事業として記載するかどうかは議論がある。SDGsの中に盛り込まれているという理解でもよいが、環境配慮や環境については記載を検討していただきたい。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の通り、10年前と比較して環境についての言及が少なくなっている。今回、記載するにあたっては社会の変化した部分に重点を置いて記載しているため、環境についての記載が少ない。しかし環境は岬町の政策基盤においても非常に大切で、どのように良好な環境を維持するかは考えるべきだ。検討する。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7ページのタイトルは「超高齢社会への対応」となっているが、これは4ページの「人口減少社会」と同じ印象を受ける。健康は高齢者の健康を守るだけではない。特に岬町は中高年からの受診率や健康への意識が問題となる。多世代にわたって健康の推進を進めていく表現としていただきたい。 ・文章中では健康寿命の延伸や多世代にわたることが記載されているので、タイトルのつけ方を工夫してほしい。例えば、健康長寿社会であるとか、健康寿命とか、高齢者に絞らない、若いうちからの健康推進が、高齢者の介護予防やQOLの促進に繋がることを踏まえてタイトルを再考してほしい。 ・7ページの2番目の項目について、住民の見守り、医療の資源の関連が話題に上がる。できれば地域包括ケアや地域共生社会をキーワードに入れていただきたい。これはこの10年間で一番大きく変わった点だ。 ・重点施策は、3番の雇用が大切だと考える。岬町に限らず、泉州地域では介護の分野においてサービスを構築しようとしても人材が不足している。介護人材が定着しないと安定したサービスの供給ができないので心配している。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の重視は全国的な風潮であり、その中の一つとして高齢者を取り上げることはけっこうだ。加えて、町を挙げてのケアシステムなど、具体的なことが盛り込める頭出しになっているか確認してほしい。 ・課題や社会潮流は本日でおおかた固めることになると思う。そうなると、本

事務局	<p>日意見が出なかった点に対しては加筆修正が難しいという理解でよいか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お見込みの通りである。その課題に対してどのように対応していくか、今後文面を構築していく。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の並び順も含めて検討していただきたい。安全・安心の順番や潮流について、気にする必要はないか。社会潮流は2番目に安全・安心が記載されている。あとは分野別なので順番通りに記載する必要はないと思うが。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の通り、社会潮流の順序とまちづくりの課題の流れの順序が一部異なっている。中身が固まった段階で提示して、分かりやすい形とする。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・社会潮流と分野別課題が1対1対応ではないと理解している。現状のままで説明しやすいのならば、このままでけっこうだ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・9ページの「安全・安心な地域社会への対応」において、不法投棄について言及していただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心か、環境保全に加筆することかと思われる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄については重要なテーマであり、どこに盛り込むかはまた検討する。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・9ページにゼロエミッションについて言及されているので、この辺りに盛り込んでいただければと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉や子育て、ケアシステムといったことはベースとなる財源が必要で、産業、観光に力を入れていくべきだ。どのように岬町へ人を集めていくか、その施策を考える必要がある。人が集まる環境の整備としては教育や産業、観光といった施策だと思う。 ・そこで、民間の活力の醸成を考える必要がある。他の地域を見ると、たとえば観光資源を最大限生かした取り組みが行われている中で、よく言われるのが地域の稼ぐ力をどのように作っていくかだ。 ・その中で、行政がすべて仕事を抱えこむスタイルではなく、ソフトの仕組みづくりを意識しながら、各団体と話し合いをすることが必要だ。 ・住民と多く接する課だと、地方創生推進課に加えて生涯学習課がある。スポーツや歴史、文化を通じて今後重要性が増してくるかもしれない。縦割りではなく、ひとつまちづくりプロジェクトのようなものがあるのも良いのではないか。他の地域では行政や民間が入った地域団体がしっかりとできている。そのような点も調整していただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金を使って様々なところで商業施設と役所が一緒になってお祭りを開いたり、商店街の活性化といった取り組みが行われている。しかし補助金頼みなのでその時のイベントにお金を使い、組織化まで至らないこともある。 ・最初の3年間が多いが、そこだけで盛り上がって、継続や組織化が難しい。そうすると、役所もそうだが、民間事業者も育たない。組織単位で、町単費で補助金が出せるかが問題だ。11ページだと、右上の5ページ目、他の委員からもあったように、まちづくりは人づくりであるということが根底にある。 ・リーダーの育成と同時にそれを支える仕組みづくりや人材の確保を同時に考えていく必要がある。これは縦割り行政ではできないので、横割的に意見を言える環境が必要だ。教育、イベント、一次産業といったことでこのよう

委員	<p>なノウハウは必要なのでできるところからはじめる必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> その点は、事業者との連携が必要なので仕掛ける民間事業者との相談が必要だ。役所が地元でイベントに出ていって手伝うことがあると聞くと、人数には限りがある。これらについて記載を検討してほしい。 総合計画を取りまとめるにあたり、議会では今後の小学校の在り方が大きな議題となっている。第4次総合計画で言及されていないため議会では話が前に進まない。 住民の意見を聞きながら進めていく必要があり、その点についても住民の意見を聞ける仕組みを記載していただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画は町を挙げて策定するものだが、教育委員会は別扱いをすることが多々ある。その点について岬町では発言に支障がないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画で個別具体的内容をどこまで記載するかは問題になるが、今後の課題としては9ページの⑤である「都市基盤の整備と維持への対応」の3つ目で、公共施設全般の在り方について検討できるように記載している。 委員から指摘があった点をどこまで盛り込めるか検討する。事務局としては、このような形で盛り込めば幅広く対応できると考えている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の長寿命化はすでに全国的に取り組まれている。その中で学校の統合や空き部屋の利用といったソフト面の検討は可能だ。記入方法を工夫していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 町内では空き家が増加している。人口を増加させていくにあたり、空き家を活用して、若年層が入居しやすい低価格で整備することができないか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 全国的に空き家問題は、居住系の空き家と商店街の空き家と、さまざまな空き家形態があり、空き家法に基づく計画が立てられている自治体もある。ただし、空き家というだけで記載内容は似たようなものになっている現状がある。 空き家は地元の住民との協力と、町ができる範囲が限定されたり、プラットフォーム型でホームページに掲載するだけの自治体もある。計画だけ作るだけという自治体もある。廃墟となった空き家を、行政の事業費で取り壊している自治体もある。空き家は使わないと維持できないという理解の下で、記載内容を検討していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 自治体によっては空き家をホームページに記載しているだけでなく、行政職員が移住したい人をひとりひとりサポートして、移住につなげる施策を行っている自治体もある。このようなことはソフト面で行うべきことなので参考にしていきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の活用は多くの自治体で取り組まれているので、地域の活性化と定住人口の増加のため検討していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 和歌山市の加太では、まちづくりで成功していると感じる。成功事例から岬町へ取り入れることができる点は取りこんでもらいたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 東京大学の地域活性化センターの女性が活躍しているとうかがっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 加太観光協議会と岬町観光協議会は連携している。淡輪の愛宕山へ行く人で、

<p>会長</p> <p>事務局 会長</p>	<p>4月から5月の2か月間は人の交流が激しかった時期があった。観光協議会、自治区連合会中心として活性化協議会を設立した。大学の先生が中心となって、加太の淡嶋神社の入り口に、観光行政を主とした会社も設立した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済交流の基本はあくまでも岬町の行政が中心となってリードしていくことだと考える。それに伴い、先生方がバックアップしていくことが大切だ。意識改革が60%くらいに伸ばせるように広報活動を行ってこそ、総合計画は策定されるだろう。 ・観光協会も手伝っていただけるという意味表明だった。観光をベースに地域活性化、交流人口といったことを観光的な側面で記載できるのか。 ・前向きに検討していきたい。 ・社会潮流及びまちづくりの課題について、多くのご意見を頂いた。事務局で整理、検討していただきたい。
<p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>(4)次回審議会日程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の開催は令和2年5月を予定している。会議の開催は平日の開催で問題ないか。 ・事務局から提案があったように平日開催とさせていただきたい。
<p>会長</p>	<p>(5)その他 (特になし)</p> <p>8 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長時間にわたりご審議いただき感謝申し上げます。これにて閉会する。 <p style="text-align: right;">(以上)</p>